

平成 28 年 9 月 9 日(金)

伊良湖岬中学校統合検討委員会

伊良湖岬中学校区説明会（まとめ）

日時	平成 28 年 8 月 25 日（木） 午後 7 時～8 時 35 分
参加者	校区、自治会、保護者 ほか 47 名 市（教育委員会 ほか） 7 名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・伊良湖岬中学校統合検討委員会委員長あいさつ ・教育部長あいさつ ・資料説明：伊良湖岬中学校の統合先及び統合時期の方針案について ・質疑応答

【 説明会における主な質疑、意見（抜粋） 】

Q 1：自分の子供が中学 3 年生のときに統合する。クラス分けについてどのように考えているのか。

A 1：どのようなクラス分けにするのかなど具体的な内容について、統合先、統合時期が決定後、統合準備委員会などで十分な検討を重ねて考えていきたい。（市）

Q 2：クラス分けなどについて、子供たちの意見は尊重していただけるのか。特に最高学年での統合となると、不登校の引き金になってもおかしくない。

A 2：子供たちは、統合に伴い大勢の新しい世界へ入っていくので、心配や不安が大きいと思う。子供たちの願いも聞きながら、子供たちの言うとおりにするのが本当にいいのかも含めて、子供たちを第 1 に考えていきたい。（市）

Q 3：現在、伊良湖岬小学校の 6 年生は男の子が多く、伊良湖岬中学校に行った場合にはソフトテニス部の希望が多く出ると思う。福江中学校の学校見学会でもソフトテニス部の人数が多く、福江中学校と伊良湖岬中学校が一緒になると、練習場が足りなくなる。希望があれば、来年度から伊良湖岬中学校に福江中学校にある部活動を新たにつくってほしい。

A 3：現時点では具体的なことは決まっておりません。御要望についてできる範囲で、よりよい形で考えていきたい。（市）

Q 4：統合先の決定時期を最初の案から 1 年おくらせている。なぜ 1 年おくらせたのか。

A 4：皆さんの意見をゆっくり慎重に考えていきたいという思いと、一方で統合時期は早めに決めてほしいとの声もありましたので、統合先の決定時期を 1 年おくらせて平成 28 年度としました。また、伊良湖岬小学校のアンケート結果も踏まえて、小学校 6 年生、中学校 3 年生と最高学年で 2 度の統合を経験することを回避したものです。（市）

Q 5：最高学年でダブルの統合を回避されたのは、すごくいいことだと思うが、福江中学校に行くと現在伊良湖岬中学校でおこなっている太鼓部などがなくなってしまう。そういう子供たちへの配慮はされるのか。

A 5：伊良湖岬中学校独自の活動が、福江中学校と統合した場合に残るのかどうかは確定しておりません。伊良湖岬中学校の子供が楽しみにしている行事がなくなってしまう可能性はありますが、福江中学校でも様々な取り組みを行っており、良い経験ができるのではないかと考えています。（市）

Q 6：統合まで、どの程度の準備期間を考えているのか。

A 6：詳細については、これから考えていく予定ですが、統合までの期間における交流事業など、できる限りスムーズに一緒になっていけるように考えていきたいと思っております。（市）

- 意見 1 : 最終的に子供にしわ寄せがいかないように統合準備のスケジュールを早めに決めてほしい。
A : 統合先が決定した時点で、両方の学校に相談をかけて、できるだけ速やかに交流活動に入っていきけるように考えていきます。
- 意見 2 : 統合先の決定とは別に、カウンセリングの人の配置の問題など、事前にやれることがあれば早めに決めてほしい。
A : 計画的に落ちのないように進めていきます。(市)
A : 平成 31 年度の統合の場合、約 2 年半あります。伊良湖岬地域の 3 小学校の統合の場合も約 2 年間、野田中学校の場合でも 2 年間かけて統合準備委員会をやっておりますので、その間で交流事業などを十分に考えていきます。(市)
- 意見 3 : 伊良湖岬小学校の状況を見ると、準備期間が 2 年では少し足りなかった。行事や部活動への配慮など、すごく偏りがあり、子供にしわ寄せが来ていたので、自分としては、中学 3 年生でまた子供が統合することになるので、すごく不安である。小学校が統合するよりも中学校はすごくナーバスである。
A : 部活動について、大きな不安があることは私も同感です。野田中学校が田原中学校に統合した場合にも「選手として出られなくなる」、「野田チームをつくってほしい」など意見がありましたが、様々な事情の中で十分議論をして「中学 3 年生の夏の総合体育大会では独立したチームでの参加は行わない」と大会主催者側で決定がされました。(市)
- Q 7 : 平成 31 年度の統合は賛成であるが、中学 3 年生で統合する子供の保護者を統合準備委員会の委員として入れてもらいたい。
A 7 : 統合準備委員会の委員の人選については、校区、自治会、PTA と相談しながら考えていきます。(市)
- Q 8 : 伊良湖岬中学校の海拔は約 17 メートル。避難場所である福江中学校の校舎 3 階付近で海拔が約 14 メートルになるが、津波の想定は約 20 メートルだった。避難場所として福江中学校は適当な場所か。また、部活動については、中学校入学時点から福江中学校と同じ部活動を選択できるようにしてほしい。
A 8 : 福江中学校の運動場の海拔は約 6 メートルで、国から発表された浸水区域には入っていません。地域住民が避難しても十分なキャパシティがあり、避難場所として指定されている。(市)
A 8 : 福江中学校の全ての部活動を伊良湖岬中学校で行うことは、指導者の問題もあり、現実的に不可能です。どういう形でやっていくことができるかをよく議論していく必要があります。(市)
- 意見 4 : 私自身としては、統合をもう一、二年おくらせてほしい。教職員の配置など県と相談する時間をきちんと設けてやっていただきたい。
- 意見 5 : 野田中学校が田原中学校へ統合された際、いろいろな良い点、悪い点があったと思うので、しっかり検証していただきたい。
- 意見 6 : 野田中学校の場合は、中学校の段階で初めて統合を経験している。伊良湖岬地域の場合は、伊良湖岬小学校で統合を経験した子が、もう一度中学校で統合を経験するという、その負担をもう少し考えてほしい。